



ATTIC ART EXHIBITION

アティックアート 美術展

～あふ溢れる才能 きらめく感性～

2023.8.1 tue - 8.6 sun
刈谷市美術館 **入場無料**

開館時間9:00-17:00 (8/1は13:00より開幕、8/6は14:00まで)

主催：角文株式会社

後援：愛知県・愛知県教育委員会

刈谷市・刈谷市教育委員会

協力：一般社団法人アティックアート

角文創業 **200** 周年記念
所蔵絵画を約 点展示



角文HP



アティックアート美術展～溢れる才能 煌めく感性～ 開催によせて

2023 年は角文がアティックアートの活動に参加してから10年という節目であると共に、角文創業 200 周年という節目とも重なっています。この機会に、この 10 年間に買い取らせていただいた原画 200 点以上を「刈谷市美術館」という公的な美術品展示施設において一堂に展示することといたしました。原画をもとに、今まで作成した卓上カレンダーなどのグッズも同時に展示いたします。

この 10 年の間には、2013 年に最初に絵を採用させていただいてから、ほぼ毎年採用させていただいている、みよし市「わらび福祉園」の宇平康之氏の 27 点を最多採用として、同じアーティストから複数の作品を採用させていただいています。今回の刈谷市美術館での展示方法については、一人一人のアーティストの「個展」の集合体というコンセプトとなっています。

アティックアートは、最初は「だんだんボックス」と呼ばれ、愛知県刈谷市出身の建築家であり九州大学教授でもある鵜飼哲矢氏の発案によるものです。鵜飼氏が 2009 年に九州大学へ赴任した直後、ある彫刻家との出会いから、段ボールに障がいのあるアーティストたちの絵を印刷して販売することによって、彼らをサポートする活動が始まりました。

その後 2011 年春、愛知県にも支部が出来て、須藤伸枝氏が支部長を引き受けました。一方で岡崎信用金庫が当時の大林市郎理事長の即断即決で、みよし市「わらび福祉園」の 3 人のアーティストの絵を印刷した現金封筒を作成しました。これが現在の愛知県におけるアティックアートの活動の原点です。

角文がアティックアートに参加させていただいたのは、それから 2 年後の 2013 年のことです。刈谷ハイウェイオアシスの設計者と施工会社という関係からお誘いがあり、私自身

も以前から「障がいを持つ方は、その一方で優れた感性の持ち主であり、いわば天才であり、健常者といわれる我々は凡人である」という考え方を持っていたので、鵜飼氏の趣旨にすぐに賛同し、それ以来継続して活動に参加させていただいています。

現在は、一般社団法人アティックアートとして須藤伸枝氏が理事長を務め、18 社の会員企業がアーティストの作品を買い取り、各企業が無償で配布する販促グッズなどを作成しています。その活動の輪は年々広がりをみせています。

この度開催させていただく「アティックアート美術展 ～溢れる才能 煌めく感性～」を鑑賞いただき、一人一人のアーティストの才能と感性に触れていただければ幸いです。

角文株式会社
代表取締役 鈴木文三郎



角文株式会社の社会貢献

角文は豊かな未来と私たちが生活を営む地域の活性化を目指し、社員の一人ひとりが、様々な活動を通して環境保護や社会貢献に取り組んでいます。

一般社団法人 アティックアート

- 障がいがありながらも自立を目指す才能あるアーティストを応援します —
- 一般社団法人アティックアートは、障がいのある人が創作した、独自の世界観と絶妙な色彩で彩られた絵画・版画などの作品を世間に公開することにより、埋もれている才能のある人が社会参加できることへの支援を目的とし、眠っていた才能を探し広げるように応援するプロジェクトです。



刈谷市美術館 Kariya City Art Museum

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5
電話：0566-23-1636

<https://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

【電車】JR 東海道本線・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約 10 分

刈谷市公共施設連絡バス(無料)で約 5 分

【車】名古屋方面より＝国道 23 号(知立バイパス)「一ツ木 IC」から約 5km*駐車場あり(無料)

～溢れる才能 煌めく感性～
アティックアート
美術展

入場無料

2023.8.1 tue - 8.6 sun

開館時間 9:00-17:00 (8/1は13:00より開幕、8/6は14:00まで)

お問合せ先 角文株式会社

0566-22-1811

<https://www.kakubun.com/>



角文HP